

かみまち議会だより  
**GIKAI-Press**



● 12月定例会

- こども誰でも通園制度 ..... P2
- 一般質問 町政を問う ..... P4
- 加美ing! 議員 ..... P11
- 常任委員会・視察レポート ..... P12

「～澄んだ寒空のもと、安全を願って～」

※関連記事は11ページ



議会中継はこちらから

加美町議会映像配信



検索

<https://kami-town.stream.jfit.co.jp/>

## こども誰でも通園制度

# おのだ園・みやざき園で4月スタート!

**答** 私立園の申請事業者はいなかつたといふことだが、対象事業者には、いつどのような形で周知したのか。  
**答** 5月の段階で、公立・私立両園に対しても制度や実施の手引きについて説明会を行つた。

令和8年4月1日から、保育園に通園していない0歳6か月から3歳未満の児童を対象に、保護者の就労要件を問わず柔軟に利用できる制度が開始されます。令和7年9月議会において制定した、設備や運営の基準を定める条例に加え、今回、給付費支給の確認基準を定める条例を制定することで、4月より制度を開始するための条例の整備が完了します。



新制度で子どもの育ちを支えます

**問** 支援給付費は、どの程度、どのような形で給付となるのか。

**答** 保護者に直接給付するのではなく、町から施設に給付し、施設が代理で受領する仕組みとなる。この給付により、こどもを預ける保護者は1人1時間当たり300円で利用が可能となる。

## ちょっとひと息 74万4,783mってどのくらい?

加美町からスタートして、道のりだと愛知県名古屋市くらい、直線距離だと岡山県岡山市くらいの距離になります。町では、町民の皆さんのが安全に通行できるように、そんなに多くの道路を整備しているんですね。



# 12月定例会

## [本会議]

(12/10～12)	4人
12/10 一般質問	4人
12/11 一般質問	3人
12/12 議案審議	

12月定例会は、10日から12日までの3日間で開催され、11人の議員が町政について一般質問をしました。議案審議では、加美町特定乳児等通園支援事業に関する基準を定める条例や、公の施設の指定管理者の指定、町道路線の認定(6路線)廃止(5路線)を議決したほか、令和7年度一般会計補正予算などの議案を審議し、原案のとおり可決しました。

## 町道路線の認定・廃止

農道からの移管、町道の起終点の変更、ほ場整備事業における換地処分などが終了したことにより、6路線が町道認定、5路線が廃止となります。これにより町道は合計955路線、総延長74万4,783mとなります。

**答** 他の路線についても、現地を確認して担当課と調整し、町道に認定することで交付税がより多く入ってくる。今後、町道認定を進めていくべきと思うがどのように考えるか。

## 定例会で審議した内容

条例制定	2件
指定管理者の指定	3件
補正予算	7件
その他	3件

# 補正予算

12月定例会では、救急医療センター運営費負担金や鳥獣害防止総合支援事業補助金など、歳入歳出にそれぞれ3億4,721万1千円を追加し、総額157億3,632万4千円とする一般会計補正予算を原案のとおり可決しました。

## 一般会計補正予算

主な内容		補正額
歳入	障害者総合支援事業費補助金	465万円 増
	立木等売払収入	1,120万円 増
	ふるさと応援基金寄附金	1億2,000万円 増
	県営土地改良事業債	6,150万円 增
歳出	救急医療センター運営費負担金	1,404万円 増
	筋川油流出抑制対策事業負担金	1,137万円 増
	鳥獣害防止総合支援事業補助金	857万円 增
	台湾嘉義市訪問経費	360万円 増

Pick UP1

Pick UP2

Pick UP3

## Pick UP1 救急車利用が増加中

- 救急医療センター運営費負担金 1,404万円

### 事業の主な内容

大崎市民病院救命救急センターの運営費に係る負担金を支出するものです。

負担金増加の原因として、物価高騰や、心臓病など高額な医療費を要する症例が多くなったことがあげられます。また、加美町民が重度な病気（脳内出血や心臓病）により救急車で搬送されることが増加し、長期入院に繋がっていることも要因となっています。加美町での健康対策が急がれます。



## Pick UP2 クマ捕獲への支援を拡大

- 鳥獣害防止総合支援事業補助金 857万円

### 事業の主な内容

クマ対策に係る補助金を加美町鳥獣被害防止対策協議会へ支出するものです。協議会ではこの補助金を原資として、クマ捕獲者やそれに従事した方への報酬などを支払います。

今回の補正により、クマ捕獲報酬の8,000円から2万円への引き上げのほか、捕獲従事者への1人1万円の報酬や、わな設置に係る各種手当などが新設されます。



わなで捕獲されたクマ

## Pick UP3 友好協定締結の足掛かり

- 台湾嘉義市訪問経費 360万円

### 事業の主な内容

12月の「嘉義市都市博覧会」に合わせ、町長、議長、教育長、JA加美よつば組合長など18人が台湾嘉義市長・議会を訪問しました。また、加美町のお酒や農産物加工品などを販売し、今後の地場産品輸出に向けた効果的なPRとなりました。

今後、友情と信頼をさらに深め、相互の発展が長く持続することを祈念し、友好都市提携協定を締結することとしています。



訪問の様子は  
こちら



加美町をばっちりPR

# 町政を問う 11人が質問

似顔絵を描いてくれたおともだち

NOVAバイリンクル

## 加美中新田保育園 キンダー3クラス(年長)



### 一般質問目次



通告1番 早坂 伊佐雄 (はやか いさお)

部活動 5ページ

今後の地域展開の方針は



通告7番 三浦 英典 (みうら ひでのり)

米価格高騰 8ページ

国民の主食は守られるのか?



通告2番 伊藤 由子 (いとう ゆうこ)

新庁舎建設 5ページ

災害に強い庁舎とは



通告8番 沼田 雄哉 (ぬまた ゆうや)

町長公約 8ページ

農産物輸出の現状と進め方は



通告3番 米木 正二 (よねき しょうじ)

地域活性化 6ページ

加美町合宿誘致戦略を問う



通告9番 今野 清人 (こんの きよと)

クマ対策 9ページ

捕獲・誘因木の対策は



通告4番 早坂 忠幸 (はやか ただゆき)

職員採用 6ページ

土木系技術職員不足の対応は



通告10番 田中 草太 (たなか そうた)

新庁舎建設 9ページ

予算管理徹底で誇れる庁舎を



通告5番 早坂 潔 (はやか きよし)

一般財源 7ページ

新たな財源確保の可能性は



通告11番 木村 哲夫 (きむら てつお)

空き家対策 10ページ

利活用でまちづくり



通告6番 高橋 聰輔 (たかはし そうすけ)

地方創生 7ページ

クリエイティブハブ所有権は

●一般質問…議員が、町への政策提言や町の課題などについて、町に質問すること。

※（掲載しているQRコード（議員写真下）で、録画映像を視聴できます。）

# 今後の地域展開の方針は

教育長

実証事業を行なながら検討



早坂伊佐雄議員



部活動地域展開について



問 方に登録した場合、保険の加入はどうなるのか。  
答 二重登録になると保険は両方に掛けることになるので、検討課題だと思っている。

問 部活動が任意加入となれば、部員数が減って、統廃合も必要になってくるのでは。  
答 そのとおりだと思う。地域の教育力を活用しながら、新たな文化面での地域クラブの創設も考えなければならないと思っている。

## 質問のねらい

加美町の子どもたちが心身ともに成長できるよう、組織、指導者の風通しの良い運営と報酬など多くの課題を解決するため。

● 鳴瀬川ダムの諸問題について  
● 移住定住施策と子育て支援策について

## その他の質問

問 指導者への謝金は部員数が少なければ、保護者の負担は高額になると思うが。  
答 指導料は実証事業を踏まえながら、保護者と公費負担のバランスを検討していく。

問 休日が地域展開に移行された場合、引率の責任者はどうなるのか。また用具や備品が破損した場合、どこで負担するのか。

問 大きな課題として今後しっかりと検討していく。



中学新人大会 県大会準優勝（鳴峰中・色麻学園合同チーム）

# 災害に強い庁舎とは

新庁舎整備室長

震度7にも耐えうる構造

## 新庁舎整備の進捗状況～スケジュール～



新庁舎整備の進捗状況（町政懇談会資料より）

問 実施設計を前にして視察した庁舎はどこか。参考になつたことはどんなことか。  
答 なつたことはどんなことか。大崎市・山形県川西町・高畠町・福島県双葉町などを訪問。相談、ブースやセキュリティーの高い出入口などが参考になつた。



● 人材育成のための「連携協定」の具対策について  
● その他の質問

問 「災害に強く、職員が働きやすい庁舎」とあつたが、どういうことか。  
答 震度7にも耐えうる強度で、防災マップ上の浸水想定の高さをクリアし、72時間対応の非常用自家発電を設備する。また働きやすい環境としては、フリースペースも含めて自由度の高い工夫を取り入れる執務環境をつくりしていく。

問 庁舎建設のコンセプトに「災害に強く、職員が働きやすい庁舎」とあつたが、どういうことか。  
答 なる努力をしているところが多かった。実施設計に反映したい。

質問のねらい  
パブリックコメントにあった住民の不安の多くは、建設地の安全性。建設のコンセプトにある「災害に強い庁舎」を具体的に示すべき。

# 加美町合宿誘致戦略を問う

町長 受け入れ環境の整備を考える



米木 正二 議員



録画映像

## 質問のねらい

加美町の豊かな資源を有機的に結び付け、町全体で合宿誘致に取り組むことは、地域の未来を切り拓く大きな一歩になるとの思いから。

●なし

その他の質問



宮城県中学校駅伝大会（鳴峰中）

# 土木系技術職員不足の対応は

町長 技術職員採用を積極的に行う

農林課長 災害の規模にもよるが、現体制では復旧まで相当の時間がかかると思われる。

●なし

建設課長 現体制で災害が発生した場合、早急な対応はできるのか。

その他の質問

総務課長 現体制で災害が発生した場合、早急な対応はできるのか。

●なし

農林課、上下水道課は、課長補佐が技術職員だが、課内の調整などもあり負担が大きいと思うが。

●なし

森林整備対策室1人（会計年度任用職員）となっている。

●なし

技術職員不足は、事業の円滑な実施に影響を与えるかもしれない。建設課土木係、農林課、上下水道課での配置状況は。

●なし



早坂 忠幸 議員



録画映像

上下水道課長 通常業務を少し後回しにしてしまって何とか対応する。人が多ければもう少し余裕を持つて対応できると思われる。

●なし

水道の漏水が、平成27年度が13万m<sup>3</sup>で、令和6年決算で36万m<sup>3</sup>と、この10年で3倍程になっているが原因は。

●なし



道路に倒れ掛けた木々を処理する職員

質問のねらい

土木系技術職員不足は深刻と思われる。インフラの維持管理、更新工事、異常気象による災害への対応ができる組織体制を図るべき。

問 用し、合宿を誘致することは地域活性化につながると思つ。どのように具体化していくのか。

工事費などの問題もあるので検討していく。

問 用し、合宿を誘致することは地域活性化につながると思つ。どのように具体化していくのか。

組織的な体制を整えることが必要。戦略として「受け入れ環境の整備」「魅力あるコンテンツ」「広報の強化」など考えていく。

問 文化資源との連携を含めモデルを構築し、まちのブランド化を図る意志は。

町長 加美町には、スポーツ・文化・観光・農業・商工業など全国にアピールできる資源がある。関係者と協議し、積極的に模索していく。

問 合宿誘致に向け、大学や実業団との協定や連携をどのように進めていくのか。

町長 職員の中に箱根駅伝常連校での駅伝経験者もいるので、コネクションを活用しながらネットワークをつなぐところから始めていきたい。

問 受け入れ体制として、自然環境を生かしたクロスカントリーコースの整備や、宿泊施設を確保するため旧宮崎中学校を合宿所に活用できないか。

町長 クロスカントリーコースは整備できる可能性はある。



# 国民の主食は守られるのか？

町長 米価の乱高下は決して良くない



三浦 英典 議員



録画映像

## 質問のねらい

現在の米事情では担い手は育たず再生産も厳しい。町は現状をどのように捉えているか確認したい。

●なし  
その他の質問



米の価格の安定がふるさとの景観を守る

問　昨年から続いている令和の米騒動をどのように包括、分析しているか。

町長　一過性のものではなく、異常気象やカ梅ムシの被害による供給量の低下、コロナ終息によるインバウンド需要の増加が複合的に重なった問題と分析している。

生協議会から、令和8年度の生産目安が示される予定。町としては、米の再生産価格を維持するため、需要に応じた生産の推進に向け、農業再生協議会で協議していく。

問　備蓄米放出で市場をジャブジャブにすると発言した前農水大臣をどう感じたか。

町長　増産を歓迎する声がある一方で需給緩和による価格暴落が心配されている。生産継続できる収入確保の仕組みやセーフティーネットの整備が求められる。

## 農産物輸出の現状と進め方は

町長 オープンマーケットでの反応を重視

## Check

※グランドデザイン  
事業の全体的な構想や、それに対する具体的な手順。



嘉義市のオープンマーケットの様子

問　加美町の農産物などの想定される輸出時期・品目・量は。

町長　昨年度から台湾嘉義市を中心とし、一般開放している。群馬県みなかみ町とアドバイザー契約を結び、助言をいただきながら輸出に関しての事業を進めている。輸出の時期と量は、現段階で具体的に申し上げることはできない。



沼田 雄哉 議員



録画映像

問　中新田商店街の観光地化の現状は。

町長　宮城大学と中新田商店街活性化に向けた調査業務の委託契約を結び、商店街のグランドデザインを作成している。観光地化を目標にしているが、担い手不足は深刻さを増しており、ボランティアや外部人材の活用を含め検討している。

質問のねらい  
公約である「農産物輸出」・「道路網の整備」・「中新田商店街の観光地化」について、進捗状況は。

● 加美町総合体育館や学校体育館への冷房設備の設置について  
● 公共施設へのネーミングライツの導入について  
● その他の質問

# 捕獲・誘因木の対策は

長期的な戦略、計画が必要



今野 清人 議員



## 質問のねらい

10月9日のクマ出没非常事態宣言以来様々な対策がとられてきた。自然が相手の問題であり、町の対応、対策を伺う。

## その他の質問

ふるさと納税における町の現状と取組みについて



柿の木に登るクマ

農林課長	現状は1頭につき8,000円を支払っているが、作業の危険性を考え、クマ出没非常事態宣言発令時の10月にまで遡り、1頭あたり20,000円に引き上げ、また捕獲従事者には新たに10,000円支給したい。	クマを捕獲駆除する際に獵友会に支払われる報奨金の金額の現状と改定の考えは。
農林課長	現状は1頭につき8,000円を支払っているが、作業の危険性を考え、クマ出没非常事態宣言発令時の10月にまで遡り、1頭あたり20,000円に引き上げ、また捕獲従事者には新たに10,000円支給したい。	クマを捕獲駆除する際に獵友会に支払われる報奨金の金額の現状と改定の考えは。

クマを捕獲駆除する際に獵友会に支払われる報奨金の金額の現状と改定の考えは。

耕作を継続していくよう仕組みを構築していく。

農林課長	現在100件、300本ほどの要望があり、今年度約40本伐採の見込みである。	クマの誘因木の伐採の現状は。
農林課長	現在100件、300本ほどの要望があり、今年度約40本伐採の見込みである。	クマの誘因木の伐採の現状は。

クマの誘因木の伐採の現状は。

クマの誘因木の伐採の現状は。

宣言発令時の10月にまで遡り、1頭あたり20,000円に引き上げ、また捕獲従事者には新たに10,000円支給したい。

宣言発令時の10月にまで遡り、1頭あたり20,000円に引き上げ、また捕獲従事者には新たに10,000円支給したい。

現状は1頭につき8,000円を支払っているが、作業の危険性を考え、クマ出没非常事態宣言発令時の10月にまで遡り、1頭あたり20,000円に引き上げ、また捕獲従事者には新たに10,000円支給したい。

現状は1頭につき8,000円を支払っているが、作業の危険性を考え、クマ出没非常事態宣言発令時の10月にまで遡り、1頭あたり20,000円に引き上げ、また捕獲従事者には新たに10,000円支給したい。

現状は1頭につき8,000円を支払っているが、作業の危険性を考え、クマ出没非常事態宣言発令時の10月にまで遡り、1頭あたり20,000円に引き上げ、また捕獲従事者には新たに10,000円支給したい。

# 予算管理徹底で誇れる庁舎を

財政運営への支障はない

企画財政課長

企画財政課長

落札後、なし崩し的に費用が増加することを避けるための管理策はあるか。

建設後の実質公債費比率への影響をどう考えているか。

物価高騰が続く中で提示された建設単価での実現は可能か。積算の根拠を問う。

物価高騰が続く中で提示された建設単価での実現は可能か。積算の根拠を問う。

物価高騰が続く中で提示された建設単価での実現は可能か。積算の根拠を問う。

物価高騰が続く中で提示された建設単価での実現は可能か。積算の根拠を問う。



田中 草太 議員



概要版はこちから



基本設計(概要版)

地域振興も念頭に置きな

地域振興も念頭に置きな

地域振興も念頭に置きな

地域振興も念頭に置きな

## 利活用でまちづくり

町長 長いスパンでイメージしたい



木村 哲夫 議員



録画映像

問 空き家を利活用したまちづくりとして、人口減少が進む西部地区の空き家を全国版空き家バンクに登録し、オーガニック（有機）農業の実践に関心のある移住者を誘致。移住者が作る安全でおいしいお米や野菜を学校給食に使うことで、子育て世帯の移住も期待できるのではないか。

町長 進めていく上で、担当部署のマンパワー不足、専門知識の不足が課題となっている。今後、空家等管理活用支援法人の活用など、民間団体との連携について積極的に検討していきたい。

問 特別措置法の改正に伴い、新たに空家等管理活用支援法人制度が設立された。一般社団法人などの民間団体と連携し取り組んでいく考えはないか。

町長 長いスパンのことになるが、そのようなイメージで想像を膨らませて、まちづくりに取り組んでいきたい。



オーガニックビレッジ事業の視察（アイガモロボ）

## 質問のねらい

完全に空き家になったものだけではなく、今後空き家になりそうなものも含めて町民と話し合いながらまちづくりを考えるべき。

● 博物館整備について  
● その他の質問

1月14日に第1回臨時会が開催され、友好都市の提携についての議案1件のほか、国の強い経済を実現する総合経済対策に基づき、物価・エネルギー高騰に対応した町民1人当たり1万円を給付するなどの、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金に関する補正予算を原案通り可決しました。友好都市の提携については、台湾嘉義市と異なる友情と信頼を深め相互の発展が長く持続することを祈念し、経済・教育・観光・災害支援・その他の友好関係推進に必要な事項が示されました。

臨時会  
1月14日

## 加美町独自の支援（主なもの）

名称・内容		対象	金額等
家庭向け	物価高騰対策給付金	全町民	10,000円／人
	上水道料金免除（3か月分） ※基本料金+メーター使用料	町内上水道利用者	2,153円～4,573円／月
	加美町こどもまんなか応援手当	児童手当受給者など	10,000円／対象児童1人 ※国の「物価高対応子育て応援手当」に上乗せ
事業者向け	物価高騰対策助成金	社会福祉サービス事業者	社会福祉事業所 200,000円～700,000円／施設 特養施設 800,000円～1,000,000円／施設
	農業者肥料価格高騰対策支援	農業者	農業者が堆肥を半値で購入できるよう、生産者・販売者に支援。
	燃料価格高騰対策支援	宮城県トラック協会の加盟事業者	大型車（8t以上） 30,000円／台 中・小型車（8t未満） 15,000円／台

問 町民から、お米券のような補助はいつ配られるのかという問い合わせをよく聞く。町の物価高騰対策をどのように周知する考えか。

答 ホームページや町広報紙のほか、補助事業の対象者が決まっているものについては、各家庭に通知することを予定している。

# 加美議員カミング!

町や関係団体から案内のあった行事に参加し、体感したことを議会や議員の目線でご紹介します。

## ニュースポーツ・モルックに大注目 第1回 かみまちカップモルック大会

モルックはフィンランド発祥のニュースポーツで、木の棒を投げてピンを倒し最終的に50点をめざします。誰でもできる競技で、チームメイトだけでなく対戦相手とも気軽にコミュニケーションを取りながら楽しめるスポーツです。

12月21日、加美町スポーツ推進委員会主催「かみまちカップモルック大会」が初めて開催されました。50チーム以上、250人を超える参加者が加美町総合体育館に集まり、議会でもチームを組んで参加しました。決勝戦まで盛り上がり続け大盛況に終わり、長く続く大会になると確信しました。



## 安全祈願祭（初漕ぎ式）



1月10日、中新田B&G海洋センターにて、加美町スポーツ協会による安全祈願祭と初漕ぎ式が行われました。熊野神社神職による安全祈願の神事の後、会場を水上に移し、いよいよ初漕ぎ式へ。ドラゴンカヌーには神職や教育長、議長を含む議員が乗り込み、1年の安全と充実した活動を祈願しました。神職からは、中新田中・高のカヌー部の全国大会での活躍を期待する気持ちのこもった激励の言葉も贈られました。晴天に恵まれ、子どもたちは元気いっぱいに初漕ぎを楽しみ、初漕ぎの後には食生活改善推進員の皆さんによる美味しい雑煮が振る舞われ、笑顔あふれる一日となりました。

# 「かせぐ自治体」の先進地域を視察

しんとみちよう みづかみ  
視察先：宮崎県新富町・熊本県水上村

新富町  
課題解決に寄付金活用

新富町では、「一般財団法人「こゆ財団」に運営を委託したふるさと納税の先進事例を視察。寄付額は町税を超える22億5千万円に達し、特産のうなぎや果物が人気。寄付額の8%を財団へ交付し、空き家の改修や特產品のブランド化など、地域課題の解決に迅速に再投資する循環型の仕組みを学んだ。

水上村  
合宿誘致で村おこし

水上村では、本格的な陸上競技施設を核としたスポーツ合宿の誘致を推進している。青山学院大学の原監督をアドバイザーに迎え、特産ジビ工による「アスリート飯」の開発など、村全体で選手を支える手厚い体制が印象的であった。加美町も充実した体育施設を有しているため、今後の活用の参考にしたい。

新富町では、「一般財団法人「こゆ財団」に運営を委託したふるさと納税の先進事例を視察。寄付額は町税を超える22億5千万円に達し、特産のうなぎや果物が人気。寄付額の8%を財団へ交付し、空き家の改修や特產品のブランド化など、地域課題の解決に迅速に再投資する循環型の仕組みを学んだ。



視察所感

今回の新富町・水上村での先進地視察では、どちらの町村でも地域の特徴を的確に把握し町の施策を生かしていた。水上村では増えた鹿を捕獲して「アスリート飯」を開発し、マイナスをも強みに変える取り組みが印象に残った。本町でも豊富な地域資源を町政に生かすヒントを学んだ。

# 対照的な移住定住策を学ぶ

みなみみのわ とうみ  
視察先：長野県宮田村・南箕輪村・東御市

宮田村  
積極的なPR戦略

宮田村は「住みたい田舎」ランキング全国1位の村。移住政策は若い世代にターゲットを絞り、仕事・住まい・教育を一度に相談できるワンストップ相談窓口を役場玄関すぐ横に設置。都市圏で村単独の移住セミナーを開催するなど、積極的なPR戦略を展開しているとのことであった。

南箕輪村  
村民の幸せ最優先

南箕輪村は2050年の人口が2020年より増加すると予測される県内唯一の村。しかし移住政策は行っていない。「今住んでいる人の幸せ」を最優先し、産後ケア負担実質ゼロ、温泉施設を利用した「ママのための湯つたりタイム」、ユニークな「おむつりレー」事業など徹底した子育て支援を展開している。

東御市では健康増進の取り組みについて視察し、ウォーキングマップの配布など、市一丸となつて健康づくりに取り組む姿勢が印象的だった。



視察所感

南箕輪村の「湯つたりタイム」は既存資源で住民幸福度を高める好例と思う。宮田村のPR戦略も参考にしつつ、本町でも振興公社を活用した「今住む人を大切にする」子育て支援、移住策が展開できると非常に参考になった。

# 現場の本音浮き彫りに

## 部活動の地域展開に係る意見交換

PTA 12月16日  
教職員 12月24日



PTA役員(保護者)からは、費用負担に関する不安が多く示されました。「受益者負担とされていながら、具体的な金額が分からず、費用負担に関する判断ができない」「兄弟が複数いる家庭ほど負担が重くなるのではないか」といった声のほか、平日の部活動、休日のクラブ活動がともに任意参加となることで、子どもの生活習慣の乱れを心配する意見もありました。一方、教職員からは、働き方改革と言いつつ、実際には教員が指導者登録をせざるを得ない現状や、転勤によってクラブが存続できなくなる不安、

将来にわたり確保することが目的であると説明されていないとして、立場ごとに切実な意見が出されました。

会の冒頭では、国・県の方針に基づき、教職員の負担軽減を図りながら、子どもたちの活動機会を

は、学校部活動の地域クラブへの移行(地域展開)について、意見交換会を開催しました。

教育民生常任委員会では、学校部活動の地域クラブへの移行(地域展開)について、意見交換会を開催しました。



現在は多くの学校が扇風機で暑さ対策

今回の意見交換を通じ、当委員会としては現場の声を重く受け止め、子どもたちの活動機会が損なわれることのないよう、

費用負担の在り方や持続可能な体制構築について、教育委員会に対し具体的かつ慎重な制度設計を求めてまいります。



地域クラブ活動体制のイメージ

12月10日 トイレ改修・冷房設置の要望書提出

教育民生常任委員会での調査・協議内容を踏まえ、①町内体育施設のトイレ改修、②学校体育施設へのスポーツクラブへの配備について、令和8年度予算計上を求める要書を提出しました。町内体育施設のトイレには、故障している箇所や洋式化が済んでいない箇所があり、利便性向上のために早期修繕・改修が必要です。学校体育施設には工アコンが設置されておらず、またスポーツクラブの一部の学校に少数しか配備されていません。工アコンの設置は財政面などから難しいと思われます。が、夏季の授業や部活動における熱中症リスクを避けるため、最低限スポットクラブの増台が必要と考えます。

# 新春挨拶



議長 味上 庄一郎



明けましておめでとうございます。  
町民の皆様におかれましては、穏やかな新年  
をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年は、  
議会に対しましてのご理解とご支援を賜り、厚  
く御礼申し上げます。

令和8年は午年であり、本町にとりましても  
飛躍に向けた事業がスタートする年でもあります。  
いよいよ新年度から、合併以来の懸案であ  
りました新庁舎建設が着工いたします。すべて  
の住民が一体感を醸成するシンボルとして、期  
待するところであります。

また、一昨年から交流事業を進めておりまし  
た、台湾嘉義市との「友好都市協定」が、年度  
内にも提携される見通しであります。協定が結  
ばれることで、加美町の農産物や加工品・日本  
酒などの輸出、さらに入りの交流などが一層促進  
されるものと期待しております。

議会といたしましても、これらの事業を支援  
し町民皆様の幸せを第一に活動してまいります  
ので、ご理解とご協力をお願ひいたします。  
結びに、今年一年が町民皆様にとりまして健  
やかな年となりますようお祈り申し上げ、年頭  
のご挨拶とさせていただきます。

## 議会だよりへ一言

議会だより89号（令和7年5月1日発行）  
に対する議会だよりモニターからのご意見・ご  
感想を紹介します。

### モニター

#### 〈議会新体制〉

レイアウトも内容も明確でとても良  
かった。必要な情報がシンプルで良  
かった。

#### 〈令和7年度当初予算〉

議会は「こう見る」は、問題意識が  
伝わる。

### 広報 委員会

令和7年4月から新体制になり、  
今までにない視点や考え方での編集  
方法に取り組んでおります。今後も  
簡潔かつ分かりやすい紙面づくりに  
努めてまいります。

## 募集 議会だよりモニター



## 議会だよりにご意見を

より分かりやすく、充実した「議会だより」と  
するためにご意見・ご感想をいたたくモニターを  
募集いたします。

詳しい内容は  
こちらから



問合せ 議会事務局 ☎ 67-5120

## 受賞おめでとうございます

### 加美町功労表彰

町議会議員として12年以上在籍  
した功績が認められ、表彰を受けま  
した。今後も町勢の発展と住民福祉  
のために精進してまいります。



味上庄一郎 議長



早坂 忠幸 議員



早坂伊佐雄 議員

# 議会のうごき

加美町議会の主な活動を報告します

11月  
～1月

①



賀美石の有害鳥獣解体処理施設の現場を確認。

②



地方議会のオンライン会議の課題についての研修を受講

月 日	本会議・委員会など	内 容
11月	4日 議会運営委員会	第4回定例会の運営についてなどを協議 視察対応（福島県新地町）
	5～7日 教育民生常任委員会	視察研修（長野県宮田村ほか）
	10日 全員協議会	加美町健康デジタルアプリ導入についてなどを協議
	11日 総務産業常任委員会	入札制度の見直しについてなどを協議
	27日 第7回臨時会	補正予算
12月	10～12日 第4回定例会	一般質問・議案審議など
	17日 視察受け入れ	視察対応（岩手県山田町）
1月	7日 全員協議会	台湾嘉義市との交流についてなどを協議
	14日 第1回臨時会	一般会計補正予算
	19日 総務産業常任委員会	加美町有害鳥獣解体処理施設建設事業などを調査 ①
	22日 宮城県町村議会議長会	議員講座（宮城県自治会館） ②

※議会だよりの編集のため、議会広報常任委員会を5回（12/12、17、1/7、14、20）開催しました。

## 議会傍聴について



傍聴の受付は「小野田支所3階」にて行います。  
申請書に住所・氏名・年齢などをご記入ください。  
一般傍聴席は「19席のみ」となります。  
満席時には、1階会議室で生中継を視聴できます。

インターネットで映像配信しています▶

### 傍聴・視聴された方（延べ人数）

会議	傍聴者人数		議会中継(LIVE) アクセス件数
	男性	女性	
12月定例会	11	3	632

## 視察受け入れ

議会改革（タブレット導入）についての視察を受け入れました。近年、急速にデジタル化が進む中で、膨大な議会関連書類のペーパーレス化や業務改善での活用が期待できることから、タブレットの早期導入に高い評価をいただきました。



次回の定例会は

2月中旬

から開催します

11/4 福島県新地町議会

# 加美町表彰式 顕彰者・受賞者インタビュー

令和8年1月8日（木）に開催された「令和7年度加美町表彰式」において、顕彰・受賞された方々にインタビューをさせていただきました。

インタビューでは、①これまでに心掛けてきたこと、②印象に残っていること、③今年の目標についてお伺いしました。



秋の叙勲・瑞宝双光章

教育・保育功労

岩岡 明子 さん

（元 中新田幼稚園・  
なかよしこども園 園長）

- ① こども、保育教諭1人として、同じ人はいない。それぞれの個性を生かしながら、入園してくる子どもたちの個性を大切に『元気な挨拶』『自分の思いを伝える』『元気いっぱい体を使って遊べる子』を目標に職員とともに歩んできました。
- ② 平成18年『お父さんの会』を立ち上げ、キウイの棚や遊具『砦』の解体、夏の奉仕作業や祭りの運営のお手伝いをしていただきました。平成27年に新園舎が完成した際に、かつての会員の10人ほどがトラック持参で再集結し、園59年分の思い出が詰まった荷物を運搬していただき引っ越し作業が終了。みんなで食べたカレーライスの味は格別。有難さ、嬉しさ、素晴らしいを感じたNo.1です。
- ③ 流行する病に負けぬよう、食生活に気を付け、70周年記念式典を在園する園児を中心に、みんなでお祝いする形にしたいと考えております。



加美町特別表彰  
スポーツ成績優秀者  
瀧谷 友和 さん

## 第46回世界アームレスリング選手権大会 6位

- ① 20年以上アームレスリングを続けております。継続は力なりと言いますが、辞めたくなる時があっても、諦めずにやはり継続することが一番だと思います。
- ② 今年参加したブルガリア開催の世界大会が一番印象にあります。10年ぶりの世界大会ということもあって、10年分の想いが詰まった大会になりました。
- ③ まずは全日本大会で優勝すること。その結果により、また国際大会に参加したいと考えます。



加美町特別表彰  
スポーツ成績優秀者  
吉岡 弥央 さん  
阿部 正侑 さん  
猪股 誠生 さん  
伊藤 瑞樹 さん  
(中新田高校カヌー部)

## 日本カヌースプリントジュニア選手権大会 優勝 (吉岡・阿部・猪股)

## 全国高等学校総合体育大会 3位 (伊藤)

- ① 私たちは日々の練習で昨日の自分に勝つこと、大会中は勝ち負けにこだわるのではなく自分たちの全力を出し尽くすことに集中しました。
- ② インターハイ3位、日本選手権で優勝し3年間の努力が報われたことです。そして、後輩が自分たちの記録を抜くと宣言したことです。
- ③ 馬のように駆け抜けるアクティブな1年にしたいです。

広報委員会から一言

令和8年もより多くの皆さんに読んでいただける広報紙となるよう、編集に取り組んでまいります。